

学校だより

横浜市情報ネットワーク（Y ネット）上に本校のホームページがあります。

横浜市立十日市場小学校
令和 8 年 6 月 30 日（火）
緑区十日市場町 1392-1 番地
TEL：981-0420
FAX：983-1694

校長室へのお客様

校長 熊谷 潤平

校長室にはときどき、「小さなお客様」「かわいいお客様」の来訪があります。

今日の中休みには6年生5名がやって来ました。聞けば、国語の学習で様々な人にインタビューをして結果を交流し、自分たちの考えを深めたいのだそうです。さすが6年生ということもあり、事前にちゃんと私に都合を尋ねてくれ、今日の中休みに取材が実現しました。インタビューを受けるに当たり、私から少し厳しい「注文」を出しました。

「小学生って、ついついインタビューが目的になって、インタビューをしておしまい、満足、終わり、になりがちなんだよね。国語でインタビューの学習しているからってという理由じゃなくて、何のためのインタビューかはっきりさせて、インタビューしたことを生かした学習にしていね。」

と伝えたところ、「はい！」と健気に返事をしてくれた6年生から、「校長はいつもどんな仕事をしているのか」「十小をどんな学校だと感じているか」「十小の一番いいと思うところは何か」などの質問を頂戴しました。

先日は2年生2名が突然来室しました。なんでも、教室で作ったブロック作品を見てほしいのだと言います。誇らしげに、様々な作品を見せてくれる小さなお客様に、思わず頬が緩みます。「上手に作ったねえ。きれいな色だねえ。」なんて言いながら私も尋ねます。

「あなたはこの中で一番どれが好きなの。それはどうして？」

2年生なりに、素朴な語彙で、私に説明してくれました。なかなか立派な言語活動をするじゃないの！と感心したところでした。

入学してまだ3か月も経っていない1年生も立派なおお客様です。習いたて、覚えてたの平仮名。心を込めて書いた字で綴った手紙を届けてくれました。中には、私に直接届けるのではなく、「校長室ポスト」に手紙を入れてくれる子も。

「こうちょうせんせいへ

いつも わたしたちのために ありがとう

はじめてきたときは きんちょうしたけど

こうちょうせんせいの こえをきいたときは ほっとしました

いつもありがとう こうちょうせんせい」

こんな風を書いたら、きっと校長は喜んでくれるだろうな、という1年生なりの気遣いもうかがえます。文字も丁寧で上手でした。いやはや、立派。大したものですよ。

礼儀正しく、「校長先生、七夕の短冊を飾りたいので願い事を書いてくれますか？」と、きらきらのきれいな折り紙を届けてくれたのは4年生。私も心を込めて、「世界中の子どもたちが笑顔になり、この地球上から戦争がなくなりますよう」と長年の念願・悲願を書かせてもらいました。

十小の、こうした子どもたちの姿から感じるの、明るい未来です。そして、こうした子どもたちを毎日指導しているのは本校教職員であり、学校に送り出してくださっているのは保護者の皆様です。

先の6年生の「十小の一番いいと思うところは？」という質問に、私はこう答えました。

「十小の学校教育目標は『夢 希望 共生 笑顔いっぱい』でしょう？君たちや先生たちと話したり、姿を見たりしていると、なんだか夢と希望を感じるんだよ。そうすると、自然と笑顔になっちゃうの。そこが一番、十小の好きなところだよ。」

こんな風に、校長室へのお客様に象徴される、健気な姿や成長は、梅雨どきのうっとうしさを吹き飛ばしてくれます。

昨年度、当初の梅雨明け宣言日は7月18日でした。ちょうど1年前のこの紙面で、「私の主観的予測によると、十日市場小学校上空における梅雨明けは、6月26日の夕方です。」と書いたところ、気象庁に声が届いたのか、9月には、「関東甲信地方の梅雨明けは6月28日ごろ」と修正・確定されました。

今日現在、2週先まで天気予報には晴れマークが登場しないのですが、十日市場小の校庭では、時折青空がのぞき、まぶしい日が差し込みます。今日もすがすがしい汗をかきながら、元気に遊ぶ子どもたちの姿を見れば、今年の梅雨明けも、そう遅くはないのではないかと、思うところで

す。

